

(参考様式4)

農山漁村活性化プロジェクト支援交付金
事業活用活性化計画目標評価報告書

平成28年9月2日作成

活性化計画名	第二伊美地区活性化計画			
計画主体名	計画主体コード	計画番号	計画期間	実施期間
和泊町	465330	1	平成25年度から 平成27年度まで	平成25年度
活性化計画の区域				
鹿児島県大島郡和泊町 第二伊美地区				

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値A	実績値B	達成率(%) B/A	備考
定住等の促進に資する基盤整備 の円滑化	2年	2年	100%	

(コメント)

土地改良事業の着手に向けた計画期間は平成25年度から3年間で、地元調整を25年度に実施し、計画期間内の平成27年度に土地改良事業県営農地整備事業(畑地帯担い手育成型)(区画整理)第二伊美地区が事業採択された。

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	事業内容及び事業量			事業実施主体
農用地等集団化	経営体育成促進換地等調整事業 32ha			和泊町
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日	
—	平成25年度	平成25年度	—	
事業の効果				
本事業の実施により、高齢化する農家に代わる担い手の営農効率を上げるためには、農地の区画整理や農道・排水路整備等の耕作環境を改善し、農地の集団化を図ることが重要であるということ認識し、アンケート調査等により規模拡大志向農家と離農や規模縮小農家との合意形成を図ることができたことにより事業着手に至り、事業の効果があった。				

3 総合評価

(コメント)

本事業(農用地等集団化)により、不整形な農地や小規模な農地を整形・集団化することに対する合意形成が図られた。また、計画どおり土地改良事業に着工できたことにより、担い手農家の育成や規模拡大志向農家への集積が図られ、効率的な農業経営が推進された。

4 第三者の意見

(コメント)

本事業の実施により、3条資格者に農地集団化の必要性が理解され、計画どおり目標が達成された。今後は、土地改良事業をできるだけ早期に完了させることにより、営農環境の改善や農業生産性の向上が図られ、定住等の促進を図っていくことが期待される。

和泊町農業委員会 会長 末川 重喜